

気候情報

2022年4月の日本の天候

- 全国的に気温は高く、特に北・東日本でかなり高かった
- 東日本太平洋側の降水量はかなり多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美の降水量はかなり少なかった
- 北日本の日照時間はかなり多かった

4月の天気概況

気温は、高気圧に覆われ晴れた日が多く、南から暖かい空気が流れ込んだため、平年を上回る日が多くなり、各地で真夏日となった所があった。月平均気温は全国的に高く、特に北・東日本ではかなり高かった。前線や低気圧が後半を中心に本州南岸付近をたびたび通過した影響で、東日本太平洋側や西日本ではまとまった降水となった所があり、月降水量は東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。北日本と東・西日本日本海側では高気圧に覆われた日が多く、月間日照時間は北日本でかなり多くなり、月降水量は北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくく、月降水量はかなり少なく、月間日照時間は多かった。

上旬：高気圧に覆われ晴れた日が多く、旬間日照時間は全国的に多かった。旬降水量は、高気圧に覆われた西日本と東日本日本海側でかなり少なかった。期間の中頃からは晴れて気温が上がりやすく、また南から暖かい空気が流れ込んだため、全国的に気温が高くなった。9日と10日は夏日となった地点が多かった。

旬平均気温は、北・東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、西日本と東日本日本海側でかなり少なく、北日本と沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本太平洋側で多かった。

旬間日照時間は、北・西日本と東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。

中旬：期間のはじめは、高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気が流れ込んだことで、全国的に気温が高くなり、各地で真夏日となった所もあった。期間の中頃は、前線や気圧の谷の影響で本州では雨が多く、寒気が流れ込んで気温が平年を下回った。15日頃は、台風第1号が小笠原諸島に接近して大荒れとなった。沖縄・奄美では気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくく旬降水量がかなり少なかった。

旬平均気温は、北・東・西日本で高かった。沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本で少なかった。東・西日本で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多かった。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美で平年並だった。

下旬：低気圧や前線が本州南岸付近と日本の北をたびたび通過した。本州付近は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、旬降水量は東・西日本でかなり多かった。特に東日本太平洋側の旬降水量は平年比

247%で、1946年の統計開始以来、4月下旬として1位の多雨となった。期間の中頃にかけて暖かい空気が流れ込んで全国的に旬平均気温がかなり高くなり、各地で真夏日となった。

旬平均気温は、全国でかなり高かった。

旬降水量は、東・西日本でかなり多かった。北日本と沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側でかなり少なく、東日本と西日本日本海側で少なかった。一方、北日本と沖縄・奄美で多かった。

4月の気候統計

月平均気温：北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった。東日本日本海側で平年並だった。

月間日照時間：北日本でかなり多く、東・西日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。東・西日本太平洋側で平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 4月の記録 (1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から (°C)
帯広 (北海道) 8.3など6地点
- ・月降水量の多い方から (mm)
大島 (東京都) 537.5など3地点
- ・月降水量の少ない方から (mm)
帯広 (北海道) 2.0など7地点
- ・月間日照時間の多い方から (h)
西郷 (島根県) 249.0など3地点

2022年4月の平年差 (比) 図

